



JF戦略セミナー・新年賀詞交歓会

令和8年1月15日 木

開場 13:30

戦略セミナー 14:00~17:30

新年賀詞交歓会 18:00~20:00

会場

ANA インターコンチネンタルホテル東京

地下1階「プロミネンス」(裏面地図参照)

ご案内

人手不足やコメをはじめとする食材価格の高騰、SDGs 対応、生産性向上など、外食産業が抱える課題は多岐にわたり、消費者の節約志向も強まる中、厳しい経営環境が続いております。

会員の皆様や関係団体とのネットワークや情報共有を一層深め、協調の輪を広げながら、持続的発展に向けた道筋をともに描いていきたいと考えております。

新年には、外食産業が取るべき1年の戦略を考える「JF 戦略セミナー」を開催いたします。「新年賀詞交歓会」と併せて、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本フードサービス協会

会長 久志本 京子

JF 戦略セミナー プログラム

第1部 <講演> 14:00 ~ 15:45

齋藤 一志 氏 「日本の米について考える」

(公社) 日本農業法人協会 会長 / (株)まいすたあ 代表取締役



(株)まいすたあ 代表取締役として、山形県庄内地方を中心に、専業農家や若手農業経営者約90名が約700haの農地で高品質な米作りに取り組む。最先端技術を活用したスマート農業を積極的に導入し、高品質な米の生産を実現しており、海外ユーザーからも高い評価を得ている。現在は香港をはじめ各国へ輸出を行うとともに、外食企業と連携した新たな輸出用米の生産にも取り組んでいる。

また、(公社)日本農業法人協会の会長として、日本の農業法人を牽引し、食料・農業・農村に関わる政策課題について多様な提言を行っている。行き過ぎた米の価格の上昇は、米消費の減退の可能性もあり、このままでは期中暴落が発生するのではと懸念している。安定した米取引の実現に向けて、日本フードサービス協会と協働し、米問題の解決に向けた取り組みを推進している。

第2部 <講演> 16:00 ~ 17:30

峯村 健司 氏 「中国情勢が日本経済に与える影響」

キヤノングローバル戦略研究所 上席研究員 / 北海道大学 公共政策大学院 客員教授



米・中國を中心に多数の取材経験を持ち、地政学と経済安全保障の観点から中国情勢が日本経済に及ぼす影響をメディアで発信している。特に最近のテレビ出演においては、中国経済が不動産不況など構造問題を抱えており、それを背景に対日圧力を強める可能性を指摘している。また、若年失業や社会不安などが今後の中国リスクを高める要因になるとの分析も展開している。貿易摩擦や経済安全保障のテーマにも精通している。

日本企業が直面するチャイナリスク、サプライチェーンの偏重、法制度の不透明性、データ規制などへの対応に加えて、日本経済にとって重要な技術分野(AI、半導体、バッテリー等)での米中競争を踏まえ、長期的なリスク管理の必要性を訴えている。